

千刈狸の呟き

～ 歴史を生きて ～

洩れた洩らしたと老人ホームの事件の様に大人げない騒ぎ方をしているが、確か事件の翌日あたり日本中のTV放映で皆わかってしまった事である。

尖閣諸島での中国漁船による体当たりについて、日本の巡視艇に体当たりして来た身の程知らずの中国漁船はスパイ船だったという話もあるが、何故かメイドインチャイナの船は壊れず、日本の巡視艇は傷ついてしまった。逮捕した漁船の船長は拘留期限を待たず釈放され驚いた事に損害賠償を払えと来た。時同じくして有利な交換条件にする為か中国を旅行中の4人の日本人が逮捕されてしまった。

軍事施設を撮影したという設定である。本当にそうならスパイという名目で死刑もあり得るのだ。筋骨き通り脅して誓約書を書かせて罰金という名目でちゃんと60数万円を支払わせている。私から見ればこれは「ゆすり」の部類に入るとされる。それと日本という国と日本人の危機管理の低さに、只驚いている。温家宝は能面の様な表情でカメラの前に立ち、一部の中国人は日本の店のウィンドウを破壊したり、日本車をひっくり返したりしたり、かなりの損害を与えている。天安門の時の様な逮捕者はなし。中国人民士気鼓舞の為の馴れ合いデモの為、警官は只見ているだけ。これこそこの破壊行為に対して日本は損害賠償の請求をすべきである。そして胡錦濤も振り上げた拳の降ろし場がなくなっただけ、話し合いならしてもいいと云って約束をドタキャンする。これが中国式外交なのか。人口だけで一流と思っているローレベルの国の様に思われる。孔子孟子の教えを受けた末裔は何処にも居なくなったのか。

其処へ持ってきて今度はロシアである。北方領土へロシア大統領の訪問である。此処はロシアのものだと言う為である。カメラを持って、あちこち歩きイクラを頬張り土産に持ってゆくという。ロシア大統領のレベルはこんな程度かと呆れてしまった。

そもそも北方四島は明治の前から日本の領土である。日露戦争の戦勝国日本はロシアに賠償金を請求したが、ビター文払わず、不毛の地樺太の南半分と千島列島を割譲してよこした。日本の敗色濃厚になってきた1945年4月ソ連は日ソ不可侵条約の不延長を通告、6月ヤルタ協定ではソ連が対日参戦の条件として樺太の南半分と千島列島をソ連に割譲する。旅順港をソ連の海軍基地として獲得する事。大連港を自由貿易港とする事。在満鉄道は中国と共同経営する事。此の経緯をみても口

シヤと中国は兄弟分である事が鮮明。日本を占領した時、北海道と東北はロシアによこせとスターリンが言った。記録には無いがチャーチル首相が強い語気で撥ね付けたと言う。若しロシアの国になっていたと思っただけで寒気がして鳥肌が立ってくる。そして北朝鮮である。

此の間、金正日の三男坊が後継者となったが、TVに映る群衆は痩せてスリムだが、彼は三重顎・メタボで栄養充分の指導者だった。此の北朝鮮を守っているのが中国である。昭和20年9月2日午前9時、東京湾に於ける日本降伏調印式がアメリカ駆逐艦ミズーリ号の甲板上で行われた。日本側からは、重光 葵外相、梅津美治郎大将が署名、その後同文書にマッカーサー元帥、ニミッツ大将及びイギリス、ソ連、中国、オーストラリア、カナダ、フランス、オランダ、ニュージーランド代表が署名した。正に此の時刻にソ連兵が北方領土四島に侵入、そのまま我物顔で居座り、65年が経ってしまった。1951年に締結された講和条約にはソ連は調印しなかったが、これは北方領土を自分のものにする目的であったと考えられる。今でも虎視眈眈として他人のものを狙っている。個人がやれば犯罪になるが、国がやれば国益になるらしい。中露の事件何れもタイミングが良すぎる。遠心分離機2000基も揃った事だし「おめも何かやってみれ」と子分コの北朝鮮を肘でつついたのかどうか、これも同胞の国にミサイルを撃ち込んだりしている。世界は一つと言いながら、権力を手に入れた者が我物顔で歩いている。日本の国力衰退を心から心配しているのは我々戦争を体験した高貴高齢者のみ。戦争が終わった時、中国大陸に駐留して居た約100万の日本軍将兵は極寒のシベリヤへ連行され、飢えと寒さの中で3年以上も強制労働させられた。そして拾数万の尊い犠牲者が出た。

賠償金は当然支払われるべきであるが、何と今頃になって日本政府は当時の生き残りの軍人に1ヶ月やっと暮らせる位の賠償金をロシアに代わって払っている。神聖なる日本国土を命がけで守り抜くという精神教育と正しい歴史を伝えなければ日本という国は滅びてしまう。山本五十六元帥は軍備拡張は世界平和の為にやるのだと云って居られた。此の美しい郷土日本の将来を愛国心の強い若者達に託して、老兵は静かに消えて行くのだ。そうでなければ靖国神社で眠って居られる英霊達に申し訳が立たぬと戦前、戦中、戦後を生きて来て思っている。

緑の狸